

和地ひとみレポート No.92

東大和市が家庭系廃棄物有料化方針（素案）を発表 ごみ有料化への市民の意見を9月1日まで募集



■いよいよ本格化。ごみの有料化。

…「家庭系廃棄物有料化方針（素案）」が8月15日に公表されました。家庭系ごみの有料化は多摩地域26市中21市で実施され、隣の立川市も今年の11月からごみの有料化をスタートされますが、「ごみの減量」「排出量に応じた負担の公平化」といった目的から、当市でも来年度の秋頃から導入を予定しています。今まで無料で行われていた行政サービスが有料になることは、市民負担が増える人気のない施策ですが、その実行を行政が決めた背景、ごみをめぐる様々な問題を鑑みた場合、市民も協力せざるえないことだと思います。

…家庭系ごみの有料化を導入することになった今、私たちが考えなければならないのは、多くの先進事例がある中、それを参考に東大和市の実情に合った方法を生み出すことです。何事もやってみなければ分からない問題はありますが、スタート時にわかっていることは事前に対処しておくべきです。市では今回策定された素案をホームページに掲載し、市民からの意見を市役所の窓口、電話、FAX、郵送、電子メールで受け付けています（9月1日消印まで有効）。また、自治会などを中心に出前で説明会を実施し意見を聴取するなども行い、今回の素案から最終的な案を9月に策定。10月、11月に最終案の説明を実施し、12月議会で条例改正案、補正予算案を提出するというスケジュールとなっています。

■戸別収集に対する懸念

…東大和市ではごみの有料化と同時にごみの戸別収集をスタートすることを考えています。戸別収集は「排出者責任の明確化による廃棄物の現況効果」「地域負担の軽減と生活環境の改善」「マナー違反による排出ごみの減少」への効果を期待し導入を決定。期待する効果は理解できますが、戸別収集を行うとごみ収集の手間が増加し、それがごみ処理経費の増加に繋がらないか心配されます。また、市内の住宅地の道路の幅は狭いところも多く、ごみ収集車が戸別回収をしている時間帯に交通の妨げになることも考えられます。そのほか、ステーション方式には、地域の人と顔を合わせる交流の場という意味合いもあるという意見が市民の方の中にはあります。

その一方で、高齢者などゴミをステーションに持参することが困難な方にとっては家のごみを出せる戸別収集は有効との声も。戸別収集の方法こそ、市民の意見を十分考慮し、東大和の実態にあった方法を考える必要があります。

…今回策定されたものは「あくまでも素案」と市側も言っています。市民の意見を踏まえて最終案を策定することとなっていますので、実際の生活、地域の中で気づく問題などを市民が市に伝えることがスムーズなスタートへのポイントになると思います。

『家庭系廃棄物有料化方針（素案）の主な内容』

■有料化の対象範囲

…可燃ごみ、不燃ごみ、資源物（瓶、缶、ペットボトル、容器包装プラスチック）

■有料化の対象から除外されるもの

…有害物（蛍光灯、乾電池、水銀体温計等）、地域の環境美化のための清掃で回収された廃棄物、地域緑化推進の観点から枝木、落ち葉、紙おむつ（公的支給をうけているものは除く）※排出方法や排出制限を行う。

■有料化の方式…単純従量制。（排出量に応じ袋1枚目から手数料を求める方式）

■手数料の設定

…指定ごみ袋10あたりの単価は2円。袋の大きさに応じた料金設定。50（10円）、100（20円）、200（40円）、400（80円）。廃棄物の種別により、指定袋の区別はしない。

■手数料の一部免除

…新たな経済負担を伴うことから、低所得者等に対する経済的負担の軽減を考慮し、手数料を免除する。手数料免除については、天災その他の特別な理由があると認める時に行うほか、子育て支援や高齢者福祉及び障害者福祉などの観点から、該当者の申請等に基づき審査を行い、手数料の一部を免除する。ただし、手数料の免除は、ごみの減量化や費用負担の公平性の確保という有料化の目的を考慮し、負担すべき費用のすべてを免除するものではなく、一定の枚数の指定袋を交付することにより手数料の一部を免除することとし、対象者にも一定のごみ減量の努力を促すような仕組みを構築する。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102